

市民がまちの魅力を発信
まちかど特派員レポート

今月のレポーター

池の上に立つ看護大学
～人間環境大学大府キャンパス～

JR 大府駅西口から徒歩 2 分、池の上に立つ大学を皆さんはご存じでしょうか？ その大学こそ私も通う人間環境大学大府キャンパス(以下、大府キャンパス)です。岡崎市にある人間環境大学の新しいキャンパスとして、平成 27 年 4 月に開校しました。いくつか候補地のある中、大府市が「健康都市」であることや、自然が豊かであること、名古屋からの交通の便が良いことなどから選定されたそうです。

大府キャンパスには、看護学部と大学院看護学研究科があります。学部開設と同時に、大学院が開設されるケースは珍しいそうです。大学院がある看護学部には全国的に著名な教授が集まっています。実務と教育経験豊富な教授がいるため、より高度な教育を受けることができるほか、看護学部では、日本でこの大学しかない国際看護学などを含む 8 つの広い分野を総合的に学ぶことができます。また、8 階建てのキャンパス内にあるいろいろな施設も魅力の一つ。例えば、国家試験対策室では、専門の講師から国家試験合格を目指した指導が受けられます。私は定期試験の勉強で分からないところを聞きに行ったり、オススメの参考書などを教えてもらったりと活用しており、とても心強く感じています。他にも図書室は看護に関する書籍が充実しており、友だちなどが勉強している姿をよく見ます。基礎看護学実習室など各種実習室では整った環境で技術実習を行うことができます。

さて、そんな大府キャンパスですが、通っている学生はやはり看護の道を志して入学している人ばかりです。小児を専門とした看護師を目指す看護学部 2 年生の伊與田さんは「あいち小児保健医療総合センターなどとも連携して、小児看護についても専門的に学べるため入学を決めました。将来は、子どもだけでなく、家族に対するケアも大事にできる看護師になりたいです」と思いを話してくれました。私自身も大学で看護師になるための基本的な知識を培うとともに、友だちや教授とコミュニ

小澤 七海

人間環境大学看護学部 2 年生。看護師の資格取得を目指すだけでなく、学生のうちにしかできないようなことにもアクティブに挑戦していきたいです。



▲人間環境大学を紹介する小澤さん

ケーションを多くとり、自分の価値観を広げたり、コミュニケーション力を養っていきたくて考えています。

一方、学生だけが学んでいる場所と思われがちな大学ですが、実は学生以外の人にも学びの場を提供しています。市民の健康保持、地域社会の発展や市民生活の向上を目的に大府市と協定を結んでおり、その取り組みの一環として、教授が講師を務める市民公開講座も開いています。今年も秋頃に「健康と看護」というテーマで行われるので、興味がある方はぜひ参加してみてください。また、10月21・22日に行われる文化祭は、どなたでも参加できます。ナース服の試着、学生による血圧測定などの看護体験コーナーや、ヨーヨー釣りなどの出店などもあるため、小さいお子さんでも楽しめるようになっています。その他にも、大府シティマラソンで学生が救護ボランティアを務めたりと、大府キャンパスは、地域の皆さんとも相互的に関わる機会があります。

まだまだできたばかりで卒業生もいない新設の大府キャンパスですが、地域の人と関わりながらこれからどんどん発展していくと思いますので、私たち学生ともども優しく見守っていただければと思います。



大府の元気な若者を紹介

New Face! OBU

挑戦、失敗を繰り返し、 立ち上がり方を学んでほしい

森田 航平さん(月見町・25歳)

一宮市で中学校の教員を務める森田さん。「何かに挑戦した生徒は、結果がどうあれ、クラスで称賛することになっています」とクラスのルールを話します。学生時代、さまざまなことに挑戦し、失敗したときには親や周りの仲間に支えられながらも前に進んできた森田さん。「大人やクラスメイトがフォローできる学生のうちに生徒にはいろいろなことに挑戦し、どんどん失敗して、立ち上がり方を知ってもらいたいと思っています」と教育のモットーを話します。



- ◆理想のタイプ 素直な子
- ◆大府の思い出の場所 清蔵公園(学生時代によく立ち寄っていた)



みんなに

ごあいさつ



宮内 凰雅さん

平成29年1月9日生まれ
翼さん(父) 麻美さん(母)

こんにちは！ おうがです。パパに絵本の読み聞かせをしてもらうことや、ママにご飯を食べさせてもらうこと、じいじとばあばに抱っこしてもらうことがだーいすき！ 早く大きくなりたいな☆

問 広報広聴課 ☎(45)6214



いきいき

シルバーライフ

大平 よ志子さん(吉田町・82歳)

大府ばやし・小唄保存会のメンバーの大平さん。「盆踊りを通じて、人とのつながりが広がっていくのが楽しいです」とやりがいを話します。大平さんは、今年の春まで保存会の吉田地区の班長を務めていました。「役はやらなくなりましたが、これからも大府ばやし・大府小唄が皆さんに愛され続けるよう協力していきたいです」と思いを話します。



▲げんきの郷の大納涼まつりで盆踊りを披露する大平さん。

Q&A

Q 元気の秘訣は？

A 踊りの他に、手芸(木目込み人形)を長くやっています。こうした趣味を持って、いろいろな人と関わっていくことが元気の秘訣なんだと思います。

Q 大府に住んで何年ですか？

A 大府には約60年住んでいます。その間に、公民館やげんきの郷など、人が集まる場所がどんどん増えて、いろいろな人との交流が増えてうれしく感じています。

災害時には、男性、女性はもちろん、子ども、高齢者、外国人、障がいのある方など、さまざまな人が避難所に集まります。今月号では、これまでに、多様な人々が集まる避難所で起こった事例を紹介します。

- 授乳や着替えをする場所がなく、布団の中で周囲の目を気にしながら着替えた。また、そのことを男性のリーダーに相談しづらかった(女性)
- 赤ちゃんの夜泣きがうるさいと苦情を受け、避難所生活を諦め、車内で生活した(子育て中の方)
- 日本語が分からず、被災状況などのアナウンスが理解できなかった(外国人)
- 避難経路に倒木やがれきなどの障害物があり、自力での避難が困難だった(車いす利用者)

このように、被災時の事例は多岐に及びます。今後に加え、これらの事例のようにさまざまな人々の存在を念頭に置いた上で、一人一人が自主的に考え、行動できるようにすることが必要です。市でも、要配慮者について記載のあるパンフレット「大府市防災マップ」、「避難所ってどんなところ？」を用意しています。こちらも参考に、一度皆さんも自身を取り巻く環境について考えてみましょう。

認めあおう！ 自分らしさ

青少年女性課 ☎(45)6219

多様なニーズに備える



■相談事例(60代・男性)

A社の仮想通貨の購入申込書が入った封書が届いた。A社から電話で「電子コインは発行枚数が決まっているので、流通が増えると価値が上がり、1円が13万円になった」と言われ、100万円を投資してみた。その後、複数の業者から「電子コインを買い取りたい」と電話があった。A社から再度電話で「転売してもらっても構わない」と言われ、勧められるままに合計5千万円分を購入した。その後の業者の対応に不審な点があるので、解約・返金してほしい。

■事例に関するアドバイス

- 警察に情報提供をするとともに、業者と連絡がつくうちに一刻も早く弁護士に相談しましょう。
- 仮想通貨は、取引相場の価格変動リスクを伴います。「将来必ず値上がりする」などと説明されても、うのみにせず、価格変動リスクや元本割れリスクなどを十分に理解できなければ契約しないでください。
- 自宅に業者が突然電話をしてきたり、訪問してきたりして、仮想通貨の購入や投資を勧められても、契約するつもりがなければ、はっきりと断ってください。

消費生活相談

商工労政課 ☎(45)6227

「必ず儲かる」との
誘いに御用心！



■消費者ホットライン ☎188
■市消費生活センター ☎(45)4538

編集者の
ひとこと

編集雑記

暑さに耐えられなくなり、今季は人生で初めてエアコンをつけたまま寝ています。めったに風邪を引かないのですが、ある日喉が痛くなり、鼻づまりも…。エアコンのせいで不調を引き起こしましたが、エアコンなしで寝る生活にはもう戻れません。9月に入ってもまだまだ暑い日は続きます。エアコンを上手に使って、残暑を乗りきりたいです。皆さんも体調管理には十分気を付けて、実りの秋を迎えましょう。(鳥)

多文化共生が輝く
吉田金型工業(後編)

国際交流員/エレン・ウー



6年前から外国人を雇用している吉田金型工業。外国人社員に優しい環境が整っています。吉田金型工業では、外国人社員が日本人社員と日本語でコミュニケーションが取れるようにNPO 団体と協力して、日本語教室を開いています。また、新しい外国人社員が入社したら歓迎会を開くなどして、社員全員が交流できる機会をたくさん作っているそうです。

社長の吉田さんによると外国人社員はモチベーションが高く、勉強熱心で勤務態度がいいので、日本人社員の良い刺激になるそうです。また、日本人社員が外国人社員と話すときに積極的にやさしい日本語を使うようになったり、お互いの文化について教え合ったりして、日本人社員の外国人への理解が深まったと話します。

吉田さんの会社での取り組みを聞き、吉田さんが外国人社員を価値のある社員として尊重していると感じました。そんな会社なら私も働いてみたいです。



▲一生懸命働くベトナム人社員

料金受取人払郵便



差出有効期限
平成30年4月30日まで
(切手を貼らずに
お出しください)

郵便はがき

4 7 4 8 7 9 0

〈受取人〉

大府市役所
広報広聴課 行



広報おおぶ「みんなの声」専用はがき

年齢 / 歳 性別 / 男・女

広報おおぶの今後の編集や企画に生かしていきたいと思っています。
ご意見をお聞かせください。

広報広聴課 ☎(45)6214

「みんなの声」使い方

- 1 広報紙から切り取ってください。
- 2 アンケート欄に記入してください。
- 3 半分に折り内側全面をのり付けしてください。
- 4 ポストに投函してください。

広報おおぶは1日号と15日号の月2回発行していますが、今年度より、8月と1月は合併号とし、月1回発行にしました。

Q1 広報おおぶの発行回数についてどう思いますか？
また、なぜそう思いますか？ 理由をお聞かせください。

- ①月1回が良い ②月2回が良い ③どちらでも良い

理由

Q2 今後取り上げてほしい企画や広報おおぶへのご意見・ご要望をお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

1128

【この号の内容】①輝く大府人 ②地域の命は地域で守る！ ③OBU TOPICS ④市政 news ⑤情報パック ⑥まちかど特派員レポート ⑦みんなにごあいさつ ⑧New Face! OBU ⑨認めあおう！ 自分らしさ ⑩消費生活相談 ⑪Ellen's Corner ⑫健康&観光施設の愛称募集 ⑬その他

※広報おおぶに関するアンケートは、市ホームページでもお答えいただくことができます。

破線に沿って切りとり、半分に折り、内側全面をのり付けして投函してください。